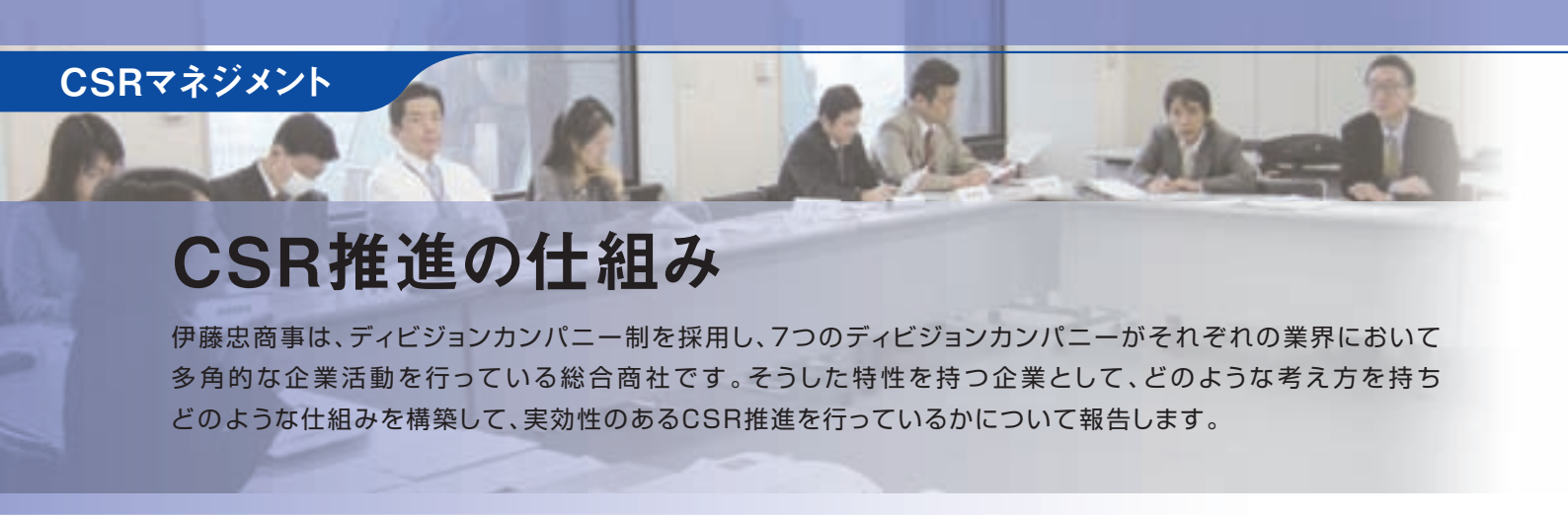


CSR推進の仕組み

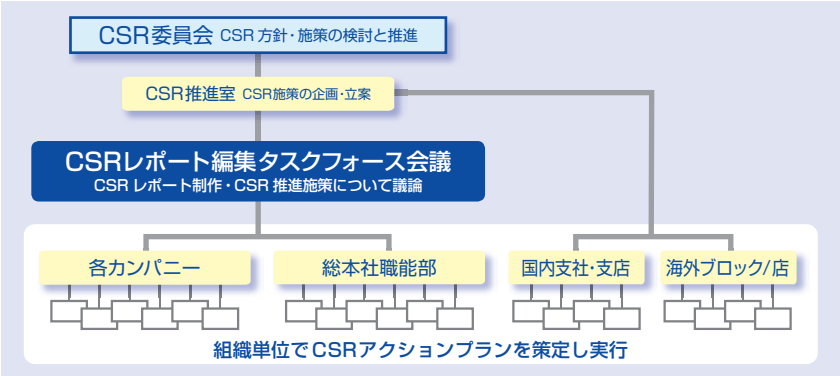
伊藤忠商事は、ディビジョンカンパニー制を採用し、7つのディビジョンカンパニーがそれぞれの業界において多角的な企業活動を行っている総合商社です。そうした特性を持つ企業として、どのような考え方を持ちどのような仕組みを構築して、実効性のあるCSR推進を行っているかについて報告します。

伊藤忠商事のCSR推進

CSR推進の仕組み

伊藤忠商事では、2005年4月に設置したCSR推進室がCSR推進のための施策等を立案し、それを「CSR委員会」で議論・検討しています。また、「CSRレポート編集タスクフォース」を組成し、CSRレポートの制作及びCSR推進施策について議論しています。

CSR推進の仕組み



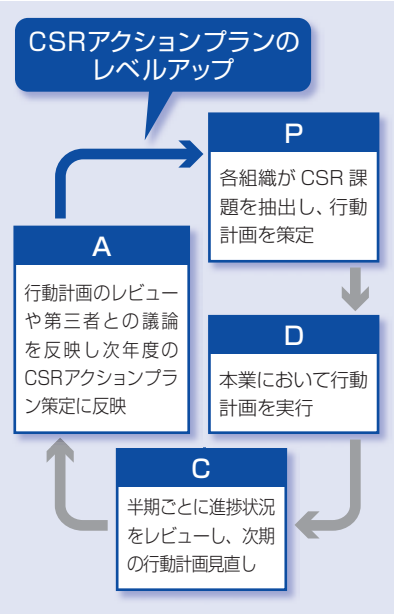
CSRアクションプランによるCSR推進

伊藤忠商事では、「CSRアクションプラン」を、組織ごとに策定し、社員一人ひとりがそれを理解したうえで、各自の職務において実行することをCSR推進の要としています。

ディビジョンカンパニーにおいては、各カンパニーの経営企画部長及びCSR推進担当者のリードのもと、担当営業部署が主体となってCSRアクションプランを策定し、CSR活動を推進しています。総本社職能部、国内支社・支店、海外拠点においても同様に進めています。

CSRアクションプランは、PDCAサイクルシステム（左下図参照）を採用し、継続的に内容の充実を図るため第三者の客観的な意見をいただくなどさまざまな取組をしています。2008年度は、カンパニーごとにCSRアクションプランに関する第三者との意見交換会を実施しました。 参照 P11

CSRアクションプランPDCAサイクル



グループ会社へのCSR展開

グループ会社へのCSR展開として、2006年度は13社にて当グループのモデル手法に基づきCSRアクションプランを策定のうえ、実行状況のレビューを行いました。2007年度は対象会社を拡大し、新たに24社を加えました。

2008年度は、合計37社におけるCSRアクションプランの実行・見直し・改善を継続するとともに、展開対象を更に拡大し、グループ会社それぞれの業容に応じたCSR展開を推進していく予定です。

CSR展開対象グループ会社一覧

ディビジョンカンパニー	2006年度対象会社	2007年度対象会社
繊維カンパニー	伊藤忠ファッションシステム（株）	（株）ロイネ、伊藤忠モードパル（株）
機械カンパニー	伊藤忠産機（株）	伊藤忠プランテック（株）、伊藤忠オートモービル（株）、伊藤忠建機（株）
宇宙・情報・マルチメディアカンパニー	伊藤忠テクノソリューションズ（株）	アイ・ティー・シーネットワーク（株）、伊藤忠エレクトロニクス（株）、キャプラン（株）
金属・エネルギーカンパニー	伊藤忠非鉄マテリアル（株）（現 伊藤忠メタルズ（株））、伊藤忠ペトロリアム（株）	伊藤忠石油開発（株）
生活資材・化学品カンパニー	伊藤忠建材（株）、伊藤忠ケミカルフロンティア（株）、伊藤忠プラスチックス（株）	伊藤忠紙パルプ（株）、伊藤忠セラテック（株）、日本シー・ビー・ケミカル（株）、ケミカルロジテック（株）
食料カンパニー	ファミリーコーポレーション（株）、ヤヨイ食品（株）	伊藤忠飼料（株）、伊藤忠ライス（株）、伊藤忠製糖（株）、伊藤忠食糧販売（株）、伊藤忠フレッシュ（株）ユニバーサルフード（株）、（株）日本アクセス、（株）シーアイフーズシステムズ
金融・不動産・保険・物流カンパニー	伊藤忠都市開発（株）、伊藤忠アーバンコミュニティ（株）、（株）アイ・ロジスティクス	FXプライム（株）、伊藤忠オリコ保険サービス（株）、（株）スーパーレックス

マネジメント側面のCSRアクションプラン

全社横断的に推進すべきマネジメント側面のCSR課題については、伊藤忠商事総本社職能部※1がそれぞれの専門性を活かしてCSRアクションプランを策定し実行しています。主なCSR課題について2007年度の実績を報告します。

※1 本社コーポレートスタッフ部署。業務部(経営企画)、事業部、広報部、IT企画部、調査情報部、海外市場部、財務部、経理部、リスクマネジメント部、人事部、法務部、総務部、CSR・コンプライアンス統括部、監査部、秘書部、ITOCHU DNAプロジェクト室等があります。

CSR課題		2007年度行動計画	※2 実施状況	2007年度実績	2008年度計画	※3 推進基本方針
CSRマネジメント	CSR面での現状把握	各カンパニーによるCSRのグループ展開計画の立案を促すとともに、カンパニーに対し情報提供・教育啓発を実施する。また、CSRアクションプラン策定済みのグループ会社13社のCSR進捗状況をカンパニーとともにレビューし支援を行う	★★★	各カンパニーが選定した2007年度CSRグループ展開対象会社24社に対し、CSRアクションプラン策定の支援を実施するとともに、2006年度展開対象会社13社に対し、カンパニーとともにレビューの支援を実施した P.36	カンパニーの2008年のグループ展開計画の立案を支援するとともに、情報提供・教育啓発を実施することによりグループ展開拡大を図る	4
		2007年度対象の7ブロック／店の推進メンバーとコミュニケーションを取り、CSRアクションプランを実効性のあるものにする	★★★	2007年度対象の7ブロック/店に加え、すべての18ブロック/店においてCSRアクションプランを策定する体制を整えた P.38	全ブロックについて、推進メンバーとコミュニケーションを取り、CSRアクションプランを実効性のあるものにする	4
	CSRに関する教育・啓発を全社的に推進	社内各種研修においてCSR研修を実施。CSRに関するビデオ等の教材制作。CSRに関する講演会の立案・実施	★★★	CSR社内啓発ビデオの制作・配付、各部署でのCSRワークショップ開催、CSR社内セミナー3回開催、社内各種研修でのCSR研修実施 P.37 P.11	社内各種研修でのCSR研修、CSR啓発ビデオ等の教育・啓発ツールの制作、CSR社内セミナーの企画・開催の継続	1・3
	投資案件に対するCSR観点からの審査	新規M&Aに関するCSRチェックリストに関し、社内承認取得の上、導入	★★★	新規M&A案件CSRチェックリストの導入につき社内承認を取得し正式に運用を開始した	チェックリストの内容・運用方法についてレビューし、改訂等につき協議・検討する	4
	人権・労働問題への取組	人権・労働問題への取組の着手として、カンパニーに対して実態調査を依頼する	★★★	カンパニーによるサプライヤーCSR調査を計229社に対して実施。CSR推進室によるサンプル調査を計12社に対し実施 P.9-10	カンパニーによるサプライヤーCSR調査を計画通り継続。伊藤忠商事のサプライヤーに対する方針策定を検討する	4
多様な人材の活躍支援・働きやすい職場環境の実現	多様な人材の確保・育成	「人材多様化推進計画」の更なる推進	★★★	「人材多様化推進計画」に基づき、採用に関する具体的な施策を実施 P.39	「人材多様化推進計画」に基づき、諸施策の継続実施	1
	働きやすい職場環境の実現	育児・介護等も含め、社員からの相談・問い合わせに対する体制・対応・予防の強化	★★★	育児・介護関連制度の見直しを実行。イントラに「人事Help Guide Book」を設置 P.41	ワークライフバランス促進策の実行	1
	従業員とのコミュニケーション強化・従業員ニーズの経営への反映	労働組合との経営協議会等継続実施	★★★	労働組合との定期的な各種協議会を開催 P.42	引続き定期的な各種協議会の開催	1
内部統制・アカウンタビリティ	アカウンタビリティの向上・情報開示体制の整備	内部統制監査に向けた規定などの整備、及び内部統制委員会の設置と同委員会における整備状況レビュー	★★★	内部統制委員会設置。同委員会において内部統制整備状況レビューを予定通り実施 P.33-34	内部統制委員会における内部統制整備状況レビューの継続。内部統制監査本番年度に向けた体制整備	1・2
危機管理	事業継続計画(BCP)の策定及びその高度化	事業継続計画(BCP)の基本計画及び個別計画の見直し。昨年度の反省を踏まえた予行演習の実施・レビュー	★★★	BCPリハーサルを予定通り実施	2007年度行動計画の継続実施	2
情報セキュリティ	情報セキュリティ管理・顧客情報・個人情報管理の強化	情報管理規程の定期的な見直し。技術的対策の継続実施。eラーニングによる情報セキュリティ教育の継続実施	★★★	IT関連社内ルールの整備・改定、技術的対策の強化、eラーニング等による情報セキュリティ教育の継続実施	ITに係る情報資産管理のための整備・実装・運用	2

※2:★★★:実施　★★:一部実施　★:未実施　　※3: P8「CSR推進基本方針」に該当する項目番号

各部署におけるCSRワークショップの取組

伊藤忠商事では、2006年度よりCSR社内啓発ビデオ(日/英/中文版)を制作し、各部署・国内支社支店・海外の各拠点へ配付するとともに、各組織において参加型研修「CSRワークショップ」を開催しています。2007年度は、CSRビデオのテーマを「地球温暖化と人権」とし、各部署・各拠点において「『環境』『人権』に関する我が部署の今後の取組・アイデア」について議論を行いました。全部署での議論に基づいた提出内容はイントラネット上で社内に公開し、共有しています。

CSR社内啓発ビデオ 英文版

CSR社内啓発ビデオ 中文版

海外拠点へのCSR展開

伊藤忠商事は海外に136拠点を持ち、グローバルな企業活動を展開しています。近年、海外においてもCSRに関する要請が高まっていることから、CSR活動を海外の各拠点にも広げています。

2007年度に先行的にCSRアクションプランの策定・実行を行った7つのブロック/店においては実行状況のレビュー及び見直しを行いました。また、2008年度からは残りの全地域においても同様にCSRアクションプランの策定・実行を開始したことにより、海外におけるCSR活動は全18ブロック/店で展開されることとなりました。2007年度の実績及び2008年度の計画（抜粋）は下表の通りです。

ブロック/店	CSR課題	2007年度行動計画	実施状況※1	2007年度の実績	2008年度の行動計画	推進基本方針※2
北米	サプライチェーンマネジメント	人権・労働側面を含むサプライヤーパフォーマンスの基準策定に向けたサプライヤーの調査実施。サプライヤーとの関係及び管理強化	★★	サプライヤー調査について協議・検討を開始。サプライヤーを訪問し、品質、原材料産地チェックを実施	引続きサプライヤー調査につき協議・検討。トレーサビリティ強化により品質、原材料産地チェックを推進	1・2 3・4
	環境保全型ビジネスの推進	太陽光発電関連ビジネスへの投資推進	★★★	太陽光発電システム販売事業へ参画	太陽光発電関連ビジネス拡大及び風力・バイオマス案件推進	4
欧州	環境保全型ビジネスの推進	太陽光発電等の環境案件の推進	★★	太陽光プロジェクト等構築中	太陽光案件等具体化に向け推進	2
大洋州	食料の安全安心確保	ナタネ生産地の訪問調査	★★★	生産地を訪問し保存状態や農薬使用記録等をチェック	残留農薬等の出荷前チェックの実施	2
	環境保全型ビジネスの推進	森林資源サプライヤーの森林認証取得状況をチェックし、取得を促進	★★★	16社のサプライヤー中、森林認証取得サプライヤーは13社となり2社増加	森林認証取得促進を継続	1・4
インドネシア	地域貢献	グループ会社運営の工業団地内に、CSR意識の高い入居企業を募り農業訓練施設及び農園を設置、農業技術伝授と雇用機会拡大を目指す	★★★	農業公園開業、運営開始	施設の拡張、入居企業の募集継続	2・4
シンガポール（東アセアン）	地域貢献	環境NGOのサポート及び駐在員婦人会による地域貢献	★★★	選定した環境NGOのプログラムの支援、駐在員婦人会によるバザー参加	環境NGOのサポート及び駐在員婦人会による地域貢献の継続	1
インドシナ	地域貢献	大学生奨学金基金への定期的教育支援	★★★	地元大学への寄付及び地方格差是正に取組む財団への寄付を実行	CSR委員会を設置するとともに、奨学金基金以外の支援先を選定	1
中国	環境保全型ビジネスの推進	省エネ・再生可能エネルギー関連事業の発掘・推進	★★	LED、省エネ機器等の省エネ関連事業拡大	既存案件の推進・拡大及び新規案件の開拓継続	2
	地域貢献	人材育成、医療、福祉・教育関連の現地活動を支援	★★★	「中国障害者福利基金会」に対する寄付実施	CSRタスクフォース設立。中国国内での地域支援。貧困地区での希望小学校の建設	1

ブロック/店	CSR課題	2008年度行動計画	推進基本方針※2
中南米	地域貢献	グループのコーヒー生産会社による社会貢献基金を通じ、コーヒー生産地域社会の持続的発展への貢献	1・2・3
アフリカ	環境保全	森林資源サプライヤーの森林認証取得状況調査	1・4
中近東	環境保全型ビジネスの推進	太陽光、風力等のクリーンエネルギー、ごみ焼却炉、省エネシステムなど環境保全に貢献するビジネスの推進	1・2
フィリピン	環境保全型ビジネスの推進	養豚場メタンガス回収CDM事業の推進（現地事業会社設立、国連へのCER登録）	2
マレーシア	サプライチェーンマネジメント	質問票を作成し、サプライヤー調査を実施	1・2 3・4
台湾	地球環境保全・地域貢献	社員の環境に対する意識向上を図り、植樹活動を通じたCO_2削減を推進	3・4
ベトナム	サプライチェーンマネジメント	社員及び取引先に対してCSRポリシーの浸透、コンプライアンス徹底を促進	4
南西アジア	環境保全型ビジネスの推進	LNG関連ビジネス、太陽光発電、排出権ビジネスへの積極的参画	2
韓国	環境保全型ビジネスの推進	太陽電池の販売促進及び発電事業の参入案件発掘・検討。森林認証取得パルプの取扱	2
モンゴル	環境保全型ビジネスの推進	政策に沿って新エネルギーの導入を推進	1・2
CIS	環境保全型ビジネスの推進	温室効果ガス削減、再生可能エネルギー案件等、環境ビジネスの積極的推進	4

※1：★★★：実施　★★：一部実施　★：未実施　※2：P8「CSR推進基本方針」に該当する項目番号

2008年度の行動計画について

2008年度は、新たにCSRアクションプランの策定・実行を開始したブロック/店を含めた全18ブロック/店において、CSR推進基本方針に則り、地域貢献、地球環境保全及び環境保全型ビジネスの推進、サプライチェーンマネジメントに関するものを中心に、行動計画を着実に実行していきます。